

吉良中学校

憧れの輝ける学校 ― 地域の学習財を生かした教育活動の創造から ―

- (1) 吉良や西尾に関わるヒト・コト・モノを学習財とした吉良中らしい独創的な教育活動を工夫することにより、生徒と教職員が学校で共に輝ける時と場を創出する。
- (2) 地域の現状や課題と向き合う学びを位置づけることにより、生徒が我が事として理解し、地域の一員としての自覚を高め、主体的に今を生きる力を育成する。

1 実際の活動

(1) 地域に生きる学びの創造

- ・防災・安全教育の視点から、生活の基盤である地域を見つめ直す活動を取り入れることで、生き抜く力の基礎となる「自分の命は自分で守る」という姿勢を培う。
- ・消防団や危機管理課との連携を図る中で、地域の防災の現状を確認したり防災体験したりすることで、生徒を地域の防災ジュニアリーダーとして育成していく。

(2) 地域を生かす学びの創造

- ・吉良や西尾にまつわる偉人の作品や生き方に触れることで、生徒の地域に対する誇りを高め、自分自身の成長に結びつけ、未来を切り拓く力を育む。
- ・茨木のり子の作品を教材化した国語科等の実践に取り組むとともに、校内に「西尾の偉人」ブース等を設置することで、地域への愛着や誇りを醸成する。

(3) 地域と創る学びの創造

- ・名鉄「にしがま線」存続問題について、関係団体と交流したり、社会科の授業等で取り上げたりすることで、存続の重要性や地域振興の在り方を考える。
- ・地域や校内のボランティア活動を通して、保護者や地域の方と交流する機会を設ける中で学校の取組を理解していただき、地域社会に開かれた学校の実現につなげる。

2 主な取り組み

- 5月 : 防災ワークショップ地域体験学習
- 7月 : 地域ボランティア活動
- 9月 : 名鉄「にしがま線」存続問題を考える学習
- 11月 : 吉良や西尾にまつわる偉人の作品や
生き方に触れる学習
- 12月 : 防災学習発表会・防災講話・学習のまとめ

